

旧明倫小学校でのワークショップの様子



3000人の楽しい町  
プロジェクトチーム

# かわら版

第2号

発行・編集

3000人の楽しい町

プロジェクトチーム

【鳥取県江府町役場】

## “みんなの困りごとを みんなで考えよう”

困った時はお互い様！  
一緒に課題を共有しよう！

みなさんの身の回りには『あー困ったな…どげしよーかな…』頭を抱えて悩んでいる人がたくさんいます…。

みなさんは困った時、だれに相談しますか？ 家族？ 友達や近所の人？ 悩み事の内容も個人で解決できることもあれば、たくさんの方の協力がなければ解決できないこともあります。

先日、旧明倫小学校で開催された「3000人の楽しい町プロジェクトチーム公開会議」では“みんなの困りごとをみんなで考えよう”をテーマにワークショップを行いました。

話し合いのテーマによっては自分には興味のない話題もあるでしょう。しかしながら、困っている誰かを想い話し合うことは、いずれ自分が本当に困った時に助けてもらえるということでもあります。みんなの困りごとをみんなで考えるような環境を少しずつ作っていきましょう。

### プロジェクトチームの サポーターを募集しています！！

3000人の楽しい町に向けて、プロジェクトチームへ叱咤激励を送っていただけるサポーター（年齢・性別問いません！）を募集しています。

内容：かわらばんの送付、意見交換会の案内通知、  
普段の暮らしで気づいたことや町の方の声を  
私たちに教えてください！

詳しくは、サポーター申込書をご覧ください。

目指せ！サポーター100人！！

【目標】平成29年3月31日までに達成！

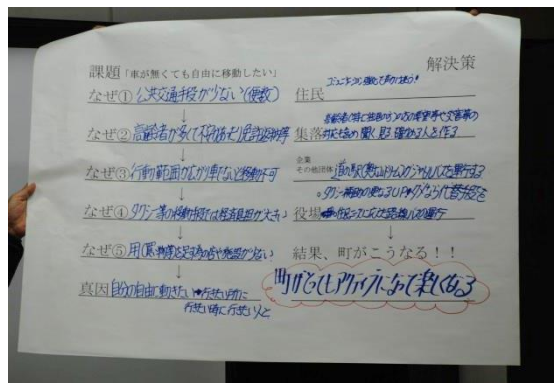
# 33人

平成29年2月20日現在

【公開会議報告】  
**旧明倫小学校で  
 みんなの困りごとを  
 みんなで考えました！**

「車がなくても自由に移動したい！」を課題に住民さんと一緒に話し合った内容の一部を報告します。

- 【今回の話し合いのやり方】
- ① 課題に対して「なぜ？」という問いを数回繰り返すことで、課題の本質を知る。
  - ② 住民、集落、企業、行政、それぞれができることを探る。
  - ③ 最終的に課題に対してみんなが行動することでどんな町になるかを結論づける。



▲模造紙がたくさんの方の意見で埋まりました！

課題…車がなくても自由に移動したい！

なぜ自由に移動できなくなった？

- ◎ 高齢で運転できなくなり、買い物や病院など自分の自由な行動ができなくなったから。
- ◎ 公共交通網が少なく行きたいところにまっすぐ行けない。
- ◎ 人口減少で利用者も減り、公共交通は儲からない。交通網が少なくなっているのではないか。
- ◎ 広くなりつつある行動範囲をカバーするような路線がないから。



町の交通の現状が住民のニーズとマッチしていないから？  
 車社会というものに  
 順応しすぎた結果なのでは？

☆解決策として  
**みんなができること☆**

- 【住民】
  - ・お互いに声を掛け合って、乗り合わせをする。
  - ・できるだけ公共交通を利用して地域でお金を廻す。
  - ・ドライバーとして活躍。
- 【集落】
  - ・集落で人の輸送を行う仕組みを作り、利用者と運転者を募り運営する。
  - ・一人暮らし高齢者や高齢者世帯などにはできることはみんなが協力する。
- 【企業等】
  - ・輸送車両の提供や交通機関に企業広告を載せ、広告収入を運営費用に充てる。
  - ・商工施設がシャトルバスを運行し、買い物支援。
  - ・生活物資などが家に届くような配達システムを作る。
- 【行政】
  - ・公共交通などのニーズ調査を行い情報収集をする。
  - ・デマンドバスやタクシーを充実させる。

- ・タクシー補助の補助率をアップさせ利用を促進させる。
- ・運転ボランティアなどの助け合いの仕組みを作る。
- …結果として

もっとアクティブで  
**楽しい町になる！**  
**江府町の集落同士が  
 近くなる！**

参加者からの感想

- ・正直あまり興味のある話ではなかったが、色々と考えさせられる意義あるものだったと思います。
- ・テーマは数限りないと思われ、ますが身近な事から取組み、解決に向けて行きたい。
- …など

今回の公開会議には13名の住民のみなさんにご参加いただきました。ありがとうございます。